

## 芸術・文化賞

氏名 レアンドロ・V・ロクシン  
(Leandro V. LOCSIN)  
生年月日 1928年8月15日(64歳)  
国籍 フィリピン



### プロフィール

ネグロス島シライに生まれたロクシン氏は、幼い時から音楽に親しみ、ピアニストを目指してマニラのサント・トマス大学音楽学校に進学するが、以前から抱いていた建築への興味が増し、途中で建築科に編入学している。卒業後2年目に、教会礼拝堂の設計を手掛け、円形の斬新な建物により27才の若さで一躍、脚光を浴びた。以降、公共施設、住宅、ホテル、商業ビル、教会等多くの作品を生み出していく。代表的な作品として、都市景観に新しい形態を提供したフィリピン文化センターの建築物群があげられる。国外では世界最大の宮殿であるブルネイの王宮を設計、氏の最大の作品となっている。また、1970年の日本万国博覧会ではフィリピン館を手掛けた。

ロクシン氏の作品は、「フィリピン建築とは、東洋と西洋というあまりにも異なり相対する二つの文化の大きな流れが収斂された産物である」という信条に基づき、設計されている。現代建築を、東南アジアの風土性やフィリピンの伝統様式の中に定着させ、美しい調和を創出した点において高く評価される同氏は、1990年にはフィリピン芸術への貢献により国民芸術家として顕彰されている。

建築以外の分野にも造詣が深く、現代舞踊の舞台美術をデザインする一方、陶器に関する著書を発表するなど、幅広い活動を行っている。フィリピンが誇る文化人の一人である。

### 主な作品

- 「ホーリーサクリフェイス礼拝堂」(フィリピン大学構内の教会) ケソン, 1955
  - 「フィリピン文化センター建築物群」 マニラ
    - 「舞台芸術劇場」1969 「民俗芸術劇場」1974
    - 「フィリピン国際貿易展示センター」「フィリピン国際コンベンションセンター」
    - 「フィリピンプラザホテル」1976
  - 「日本万国博覧会フィリピン館」大阪, 1970
  - 「マカティ証券取引所」マニラ, 1971
  - 「ブルネイ王宮」バンダルスリブガワン, 1984
  - 「フィリピン最高裁判所」マニラ, 1991
- 作品集 *The Architecture of Leandro V. Locsin* ニューヨーク, 東京, 1977